

同窓会会長挨拶



秋山 孝雄

プロフィール

昭和三十九年度機械科卒業
昭和四十年三月トヨタ自動車工業株式会社就職
昭和四十四年八月トヨタ自動車工業株式会社退職
昭和四十四年九月二本松市役所就職
平成十九年三月定年退職
平成十九年六月社団法人二本松法人会就職
平成二十三年五月退職
昭和六十年福島県野球連盟公認審判員 現在に至る
平成十八年五月松工野球部OB会設立 現在に至る
平成十九年七月行政書士資格取得 現在に至る

「チャレンジ」

早春の候、会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととご推察申し上げます。

本校は、技術者養成を目的として、昭和三十七年度に二本松工業高校が開校してから早や五十五年が経過しております。

昨年度までに一一三二四名の同窓生が国内外で活躍していることを思うと誠に頼もしい限りで、更なる飛躍することを祈っております。

平成二十三年三月に発生した東日本大震災・原発事故発災からまもなく七年目となります。目に見えない放射線と闘いながら生活することは福島県民にとつて子供たちの将来が心配でなりません。

今年も我が後輩たち八名が難関の国家試験第一種電気工事士、工事担当者DD一種に合格しました。休み

を返上して課外授業を指導してこられた先生、チャレンジした生徒の皆さんにも温かい拍手を送ります。

また、全国・東北のスポーツ大会に出場した選手の皆さんには、激励会を開催し、激励金を交付したところです。

昨年の十一月五(土)・六(日)には三年に一度のくろがね祭が開催され、多くの市民・保護者の皆さんに会場頂きました。六日(日)には、昨年東京マラソンで大活躍した高宮祐樹選手の講演会も開催されました。今後の活躍をご期待し、二〇二〇年の東京オリンピックに向けて同窓会一同応援していきたいと思ひます。

間もなく年度末を迎え、入学・進学・就職とちよつぱり不安を抱えながらも大きな「目標」を掲げ、勉強に、スポーツに、職場に大いに「チャレンジ」しようではありませんか。

お陰様をもちまして、本日第五十三回卒業式を迎えることができ、新たに百三十名の卒業生を送り出すことになりました。社会に出て何より支えになるのは、同窓生の皆様の存在であります。新社会人となる後輩たちに、温かいご支援をお願いいたします。

本年度も同窓会より、東北・全国大会出場への激励や、様々な活動を通じて本校の教育環境の維持や向上に重要な役割を果たされておられますことに、心から感謝申し上げます。また昨年のくろがね祭では、同窓生でもあるヤクルト陸上部の高宮祐樹選手による記念講演会の開催にあたり、ご支援をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

平成二十九年入学学生から機械システム科の募集定員が四十名となります。地域の皆様方から、いろいろなご意見をいただいているところで

学校長挨拶



高梨 哲夫

プロフィール

猪苗代町生まれ。専門教科は工業(機械)。趣味は、山歩き(山菜取り)と畑仕事等。平工業高校、小高工業高校、清陵情報高校、川俣高校、福島工業高校、再び川俣高校、郡山北工業高校、勿来工業高校に勤務し、平成二十七年四月に本校に着任し現在に至る。

ですが、今後は二本松市や安達管内の企業と連携を密にして人材の育成に努めてまいりますので、ご協力とご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、同窓会の皆様におかれましては本校の取り組みにご協力ならびに温かいご支援をお願いいたしますとともに、会員の方々の一層のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶いたします。

